

7月 園だよい

今月のねらい

外で元気良く遊び
たくさん汗をかこう!

野間幼稚園



元気よく外で遊ぼう！！

蒸し暑い日が続いていますが、雨上がりの空気はさわやかで、とても心地よく感じます。梅雨の時期には粘土遊びやリトミックなど室内で楽しく過ごす遊びを行ってきました。梅雨が明けてからは、青空の下、園庭を思い切り駆け回ってたくさん体を動かして遊びたいと思います。

さて、7月で一学期は終わりです。4月の入園、進級時は泣いたり、不安な表情を見せたりしている子ども達もいましたが、今では新しいクラスや友達にもすっかり慣れ、朝から元気に「おはよう！」と登園する姿を沢山見る事が出来るようになりました。一学期は子ども達にとって園生活の土台となる大切な時期です。友達や先生との関係も生まれ、園生活や生活習慣の流れを身に付け、様々な保育の積み重ねがこれからの行事や保育に繋がっていきます。7月はそのまとめの月で、七夕会・保育参観など、沢山の行事や遊びが待っています。年長児は2泊3日のサマーキャンプもありますね。一日一日を大切に、楽しんで過ごしていきたいと思います。

これから暑い日が続きます。園では小まめに水分補給をしたり、外に出る際は必ず帽子を被ったりして、体調不良や熱中症を起こさないように配慮していきます。ご家庭でも子ども達の体調が崩れることのないよう、早寝・早起き・朝ごはんを心掛けましょう。



行事予定

- 2日(月) 避難訓練・身体測定(年少)
- 3日(火) 身体測定(年長)
- 4日(水) 身体測定(年中)
- 6日(金) 七夕会・7月生まれの誕生会
- 7日(土) 保育参観日・キャンプ説明会(年長) ※登降園バスなし
- 10日(火) 保育参観日(年中、年少) (11:30 降園)
※朝は通常運行、帰りは年長のみ臨時バス
- 11日(水) 午前保育 (11:30 降園)
- 12日(木) 午前保育 (11:30 降園)
- 13日(金) 終園式 (11:00 降園)
- 28日(土) 夏祭り
- ※7月19日(木)～21日(土)
年長サマーキャンプ
- ※8月1日(水)、8月2日(木)
年中、年少夏季保育 (11:30 降園)
- ※8月23日(木)～31日(金)
年長夏季保育 (14:00 降園)
- ※年長マーチングフェスティバルは
9月2日(日)に開催が決定致しました。
1日(土)にリハーサルが行われます。



※バスは右ページに詳しく載せています。



バスの運行について

- ★7日(土)の年長の保育参観は朝、帰りどちらもバスの運行はありません。
- ★10日(火)は年中少の保育参観の為、朝は通常運行、帰りは年長臨時バスとなります。
年中少組は、参観後お子様と一緒に降園して下さい。
- ★11日(水)・12日(木)は午前保育です。11:30 降園ですので、運行時間にご注意下さい。
- ★13日(金)は終園式となっていますので、11:00 降園となっています。
帰りのバス運行は11:30 降園の時刻表よりも30分早い時間での運行となります。
- ★8月1日(水)、8月2日(木)の年中少夏季保育は11:30 降園の午前保育です。
- ★8月23日(木)～31日(金)の年長夏季保育は14:00 降園の通常保育です。
詳細は後日、おたよりを配布致します。



水遊びのお知らせ

当日はプールカードに、参加・不参加を記入し、おたよりばさみに挟んでお知らせ下さい。



★持ってくるもの★

- ・水着
- ・水遊びカード
- ・バスタオル
- ・水鉄砲等の遊び物

(遊び物は、園でも準備していますので持ってこなくても構いません)

※紛失を防ぐ為に、

全て名前の記入を忘れずをお願いします！！

年中組
8月1日
(水)

年少組
8月2日
(木)

お知らせ



ぽっぽ組に新しい先生がきました。

佐藤和子先生です。

オレンジバスとみどりバスの担当もしています。

よろしくお願い致します。



保育参観のお知らせ

7日(土)は年長、10日(火)は年中少の一学期最後の保育参観です。進級・入園してからの子ども達の成長がたくさんみられると思います。お忙しいとは思いますが、ぜひご出席下さいますようお願いいたします。子ども達も楽しみにしています。

☆日時 (年 長) 7月 7日(土) 9:30~11:30 ※バス運行なし。

(年中少) 7月10日(火) 9:30~11:30

※朝は通常運行、帰りは年長臨時バス。

※年中少は参観後、お子様と一緒に降園して下さい。

☆登園 9:20までに園にお越し下さい。9:30よりはとぽっぽ体操を始めます。

☆降園 保護者と一緒に降園

☆服装 年 長 / 体操服・制帽
年中少 / 夏制服・制帽

★鳳仙花の鉢を持ち帰りますのでビニール袋をご用意下さい。

★年中少は、来年度も鳳仙花を植えますので、植木鉢を各家庭で保管して下さい。

〈参観内容〉

★年少組・・・仲間集めをしよう！

(もちものはどれ?・かたづけをしよう)

★年中組・・・文字遊び

★年長組・・・マーチング

(保護者の方にも参加して頂きますので、

軽装でお越しください。)

〈参観に関してのお願い〉

- 駐車場は限られていますので、車での来園は禁止します。ご了承下さい。
- 私語や保護者同士のおしゃべりは保育の妨げになりますので、慎みましょう。
- 上履き・下履き入れをお持ちになり、履物は各自で保管して下さい。
- 保育中、小さなお子様は必ず手元におかれませう、よろしくお願い致します。





7月のメニュー



日	曜日	昼食
2 (30)	月	・パン ・鶏のから揚げ ・レタス ・オクラのスープ
3 (17) (31)	火	・ごはん ・大豆の五目煮 ・切干しだいこんの和え物
4 (18)	水	・ごはん ・中華風冷奴 ・きゅうりの塩もみ ・豚汁
5 (19)	木	・ごはん ・ムニエル ・ゆでとうもろこし ・ミニストローネスープ
6 (20)	金	・ごはん ・夏野菜のキーマカレー ・かぼちゃとツナのサラダ
9 (23)	月	・パン ・ミートボールシチュートマト風味 ・ひじきとズッキーニのサラダ
(10) (24)	火	・ごはん ・揚げ魚のあんかけ ・わかめスープ
(11) (25)	水	・ごはん ・冬瓜のそぼろ煮 ・小松菜の炒め物
(12) (26)	木	・ごはん ・魚のパン粉焼き ・レタス ・豆乳のクリームコーンスープ
(13) (27)	金	・ごはん ・牛肉のつけ焼き ・レタス ・厚揚げとかぼちゃのみそ汁

※()はひまわり申込みの子のみ

※献立は変更になる場合があります

水分補給は忘れずに！

わたし達の身体の成分の70%は水分です。汗や尿などで失った水分は、水や食物から補給してバランスを保っています。

ただし、暑くなるとついつい飲んでしまいがちなジュースなどの清涼飲料水には、たくさんの砂糖や添加物が含まれていますので、注意が必要です。
体にとって大切な水分は、水やお茶、牛乳、食事から十分にとりましょう。

家庭で工夫したい水分補給の仕方

- ・麦茶をいつも冷蔵庫に作っておく。
- ・食事の前に飲ませすぎない。
- ・糖分の多い飲料は控える。
- ・外出時にもなるべく水や麦茶を持参する。
- ・水分は少量ずつこまめに飲ませる。



楽しい夏にするために！

夏は水難事故の季節です！！そこで、事故に合わないための注意事項を改めて取り上げました。しっかり読んで、楽しい夏を過ごしましょう！！

目的地について念入りに調べておく

- ・遊泳可能な場所か、迅速な救助が可能な体制があるか、水流や水温の変化の激しい箇所が明確か、岩などの危険物が多い場所か、緊急時の避難ルートはあるか、河川ならば上流なのか、下流なのか、上流にダムは無いかなど。
- ・調べても分からないことは、目的地域の自治体や、そのエリアを常にご利用する漁協共同組合やスポーツ事業者の方たちからも情報を得る。

当日の状況を的確判断する

- ・天候不良時は、水難事故の発生率が高くなる。
- ・体調不良や飲酒後なども、状況判断が鈍ることや、体力の低下などにより思わぬ事故に繋がる。

子ども同士で遊びに行かない

- ・中学生以下の子どもだけでは、的確な判断や行動がとれない可能性があるため、必ず監督責任者となる大人が付き添う。

禁止事項は必ず守る

- ・「危険区域」や「遊泳禁止」などの掲示板や標識には従い、表示する標識や浮きなどを損壊しない。
- ・釣りや遊泳中に「おかしい」と感じた時は、すぐに陸などへ上がり、安全を守る。





子どもを褒める時には、もともとの能力でなく、 具体的に達成した内容を挙げるのが重要。

早いもので、一学期も終わりを迎えようとしています。新年度を迎えてからの4か月間、子ども達は日々色々なことに挑戦してきました。2学期からも、運動会、おゆうぎ会などの大きな行事もあり、また新たな事に挑戦していきます。今回は、何かに挑戦していくうえでの子どもの育て方についてお話します。

『著名な心理学者であるフロリダ州立大学の教授らの研究によると、「自尊心が高まると学力が高まる」というそれまでの定説は覆され、自尊心と学力の関係はあくまで相関関係にすぎず、因果関係は逆である、つまり学力が高いという「原因」が、自尊心が高いという「結果」をもたらしているのだと結論づけました。学生の自尊心を高めるような介入は、学生たちの成績を決してよくすることはないこと、またこのような介入が、すべての学生に悪影響だったわけではなく、特にもともと学力の低い学生に大きな負の効果をもたらしたということも明らかになっています。「あなたはやればできるのよ」などと言って、むやみやたらに子どもを褒めると、実力の伴わないナルシストを育てることになりかねません。しかし、子どもを褒めてはいけないと言っているわけではありません。重要なのは、その「褒め方」なのです。コロンビア大学のミュラー教授らによる「褒め方」に関する実験では、「子どものもともとの能力（頭のよさ）を褒めると、子ども達は意欲を失い、成績が低下する」という結果が出ています。「あなたは頭がいいのね」と子どものもともとの能力を称賛するメッセージと「あなたはよく頑張ったわね」と努力を称賛するメッセ

ージの比較では、もともとの能力を褒められた子ども達は、成績を落としてしまったのに対し、努力を褒められた子ども達は成績を伸ばしたということがわかっています。また、褒め方の違いは子ども達の取り組み方にも影響を与えており、努力した内容を褒められた子ども達は、2回目、3回目のテストでも粘り強く問題を解こうと挑戦し、悪い成績を取っても、それは「（能力の問題ではなく）努力が足りないせいだ」という考え方になりました。』成長していくペースは子どもによって違います。「そのままでもいいよ」という親の思いを感じることで、子どもも自分に自信が持てるようになります。子どもを褒める時には、具体的に達成した内容を挙げるのが重要で、そうすることで更なる努力を引き出し、難しい事でも挑戦しようとする子どもに育つということを著書の中で述べられています。このように、失敗を繰り返しながらも結果を出したときに子どもの自尊感情は育っているはずで、私たち大人は、結果だけを気にするのではなく、子どもの過程の中での頑張りや、努力に目を向けていきましょう。

参考文献 『「学力」の経済学』

教育経済学者 中室牧子

